2026年11月11日

各　　位

会社名　　小野建株式会社
代表者名　　代表取締役社長 小野 剛
コード番号　　7414　東証プライム・福証
本社所在地　　福岡県北九州市小倉北区西港町12-1
問合わせ先　　執行役員管理統括本部長 北沢 壮太
TEL 093-561-0036

2027年3月期第2四半期（中間期）業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2026年5月15日に公表いたしました第2四半期（中間期）の業績予想と実績値に差異が生じましたので下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2026年5月15日に公表いたしました通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1．2027年3月期第2四半期（中間期）業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正について

（1）2027年3月期　第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異

（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 134,900	百万円 2,800	百万円 2,700	百万円 1,800	円 銭 73.67
今回実績（B）	123,625	1,864	2,061	1,294	52.94
増減額（B－A）	△11,275	△936	△639	△506	－
増減率（%）	△8.4	△33.4	△23.7	△28.1	－
（ご参考）前期第2四半期（中間期）実績（2026年3月期第2四半期）	125,123	1,946	1,977	1,241	49.75

（2）2027年3月期　第2四半期（中間期）個別業績予想と実績との差異

（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 118,100	百万円 2,000	百万円 1,900	百万円 1,300	円 銭 53.20
今回実績（B）	108,595	1,310	1,375	922	37.75
増減額（B－A）	△9,505	△690	△525	△378	－
増減率（%）	△8.0	△34.5	△27.6	△29.1	－
（ご参考）前期第2四半期（中間期）実績（2026年3月期第2四半期）	106,989	1,136	1,141	742	29.73

(3) 2027年3月期　通期連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 274,600	百万円 6,300	百万円 6,200	百万円 4,100	円 銭 167.80
今回発表予想（B）	259,400	4,800	4,600	3,000	122.73
増　減　額（B－A）	△15,200	△1,500	△1,600	△1,100	－
増　減　率（%）	△5.5	△23.8	△25.8	△26.8	－
（ご参考）前期実績 （2026年3月期）	253,115	4,740	4,711	△2,218	△89.57

(4) 2027年3月期　通期個別業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 238,900	百万円 4,400	百万円 4,300	百万円 3,000	円 銭 122.78
今回発表予想（B）	225,700	3,100	2,800	2,000	81.82
増　減　額（B－A）	△13,200	△1,300	△1,500	△1,000	－
増　減　率（%）	△5.5	△29.5	△34.9	△33.3	－
（ご参考）前期実績 （2026年3月期）	217,904	3,033	2,884	△3,335	△134.67

(5) 第2四半期（中間期）業績予想と実績との差異の理由及び通期業績予想修正の理由

当第2四半期（中間期）においては、鉄鋼事業において、市況はメーカー主導の価格上昇基調で推移したものの、需要は低調に推移し、販売数量が想定を下回る結果となりました。また、建設事業においては、原材料価格や人件費等の建設コスト上昇を背景とした工事案件の計画見直し等により、当初想定していた工事進捗に遅れが生じ、減収となりました。

利益面につきましては、鉄鋼市況の上昇に伴う利幅の確保に努めたものの、減収の影響により減益となりました。

2027年3月期通期業績予想につきましては、建設事業において既受注工事の進捗を見込んでおりますが、鉄鋼事業においては需要環境の大幅な改善を想定しにくい状況であり、通期の業績は当初予想を下回る見込みです。

これらの状況を踏まえ、2026年5月15日に公表しました通期業績予想を修正いたします。なお、個別業績予想につきましても、同様の理由により修正いたします。

当社としましては、中長期的な成長に向けて中期経営計画に基づく必要な投資を継続し、企業価値の向上に努めてまいります。また、株主の皆様への安定的な利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けており、現時点においては期初に公表した配当予想を据え置くこととしております。

以 上